



端末設定とセッションの設定

この章では、端末設定とセッションを構成する方法について説明します。

- [端末設定とセッションの概要, on page 1](#)
- [コンソールポートの設定, on page 3](#)
- [COM1ポートの設定, on page 5](#)
- [仮想端末の設定, on page 7](#)
- [モデム接続の設定, on page 9](#)
- [ターミナルセッションのクリア, on page 14](#)
- [端末およびセッション情報の表示, on page 14](#)
- [端末ディスプレイのデフォルト設定とセッションパラメータ, on page 15](#)

端末設定とセッションの概要

ここでは、端末設定とセッションの概要について説明します。

ターミナルセッションの設定

Cisco NX-OS ソフトウェア機能では、端末の次の特性を管理できます。

端末タイプ

リモートホストと通信する際に Telnet で使用される名前

Length

一時停止する前に表示されるコマンド出力の行数

幅

行を折り返す前に表示される文字数

非アクティブセッションのタイムアウト

デバイスによって停止される前にセッションが非アクティブの状態でいられる分数

コンソールポート

コンソールポートは非同期のシリアルポートで、初期設定用に、RJ-45 コネクタを使用して標準 RS-232 ポート経由でデバイスに接続できます。このポートに接続されるデバイスには、非同期伝送の機能が必要です。コンソールポートには、次のパラメータを設定できます。

データビット

データに使用するビット数を 8 ビットのバイト単位で指定します。

非アクティブセッションのタイムアウト

セッションが終了になるまでの非アクティブ時間を分単位で指定します。

パリティ

エラー検出用の奇数パリティまたは偶数パリティを指定します。

スピード

接続の送信速度を指定します。

ストップビット

非同期回線に対するストップビットを指定します。

ターミナルエミュレータは、9600 ボー、8 データビット、1 ストップビット、パリティなしに設定してください。

COM1 ポート

COM1 ポートは、DB-9 インターフェイスを備えた RS-232 ポートで、モデムなどの外部シリアル通信デバイスに接続できます。COM1 ポートについて次のパラメータを設定できます。

データビット

データに使用するビット数を 8 ビットのバイト単位で指定します。

ハードウェアのフロー制御

flow-control hardware をイネーブルにします。

パリティ

エラー検出用の奇数パリティまたは偶数パリティを指定します。

スピード

接続の送信速度を指定します。

ストップビット

非同期回線に対するストップビットを指定します。

ターミナルエミュレータは、9600 ボー、8 データビット、1 ストップビット、パリティなしに設定してください。

仮想端末

仮想端末回線を使用して、Cisco NX-OS デバイスを接続できます。セキュアシェル (SSH) および Telnet は、仮想ターミナルセッションを作成します。仮想端末の非アクティブセッションタイムアウトおよびセッション数の上限を設定できます。

モデムのサポート

モデムはスーパーバイザ 1 モジュールの COM1 ポートまたはコンソールポートに接続できません。Cisco NX-OS ソフトウェアが動作するデバイス上で、次のモデムがテスト済みです。

- MultiTech MT2834BA
- Hayes Accura V.92



Note デバイスの起動中にモデムを接続しないでください。必ずデバイスの電源がオンになってから、モデムを接続してください。

Cisco NX-OS ソフトウェアには、接続されたモデムを検出するためのデフォルトの初期化ストリング (ATE0Q1&D2&C1S0=1\015) があります。このデフォルトストリングの定義は次のとおりです。

AT

Attention

E0 (必須)

エコーなし

Q1

結果コードを有効化

&D2

通常のデータ端末動作可能 (DTR) オプション

&C1

データ キャリア状態の追跡がイネーブル

S0=1

1 回の呼び出し音の後に応答

\015 (必須)

8 進数の復帰 (CR) コード

コンソールポートの設定

コンソールポートに対して次の特性を設定できます。

- データビット
- 非アクティブセッションのタイムアウト
- パリティ
- スピード
- ストップビット

Before you begin

コンソール ポートにログインします。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **line console**
3. **databits *bits***
4. **exec-timeout *minutes***
5. **parity {*even* | *none* | *odd*}**
6. **speed {*300* | *1200* | *2400* | *4800* | *9600* | *38400* | *57600* | *115200*}**
7. **stopbits {*1* | *2*}**
8. **exit**
9. (Optional) **show line console**
10. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure terminal Example: <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル設定モードを開始します。
ステップ 2	line console Example: <pre>switch# line console switch(config-console)#</pre>	コンソール コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	databits <i>bits</i> Example: <pre>switch(config-console)# databits 7</pre>	1バイトあたりのデータビット数を設定します。指定できる範囲は5～8です。デフォルトは8です。
ステップ 4	exec-timeout <i>minutes</i> Example: <pre>switch(config-console)# exec-timeout 30</pre>	非アクティブセッションのタイムアウトを設定します。有効値は0～525600分（8760時間）です。0分の値を設定すると、セッションタイムアウトはディセーブルになります。デフォルトは30分です。
ステップ 5	parity {<i>even</i> <i>none</i> <i>odd</i>} Example: <pre>switch(config-console)# parity even</pre>	パリティを設定します。デフォルトは none です。
ステップ 6	speed {<i>300</i> <i>1200</i> <i>2400</i> <i>4800</i> <i>9600</i> <i>38400</i> <i>57600</i> <i>115200</i>} Example: <pre>switch(config-console)# speed 115200</pre>	送信および受信速度を設定します。デフォルトは 9600 です。

	Command or Action	Purpose
ステップ 7	stopbits {1 2} Example: <code>switch(config-console)# stopbits 2</code>	ストップ ビットを設定します。デフォルトは 1 です。
ステップ 8	exit Example: <code>switch(config-console)# exit</code> <code>switch(config)#</code>	コンソール コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 9	(Optional) show line console Example: <code>switch(config)# show line console</code>	コンソールの設定値を表示します。
ステップ 10	(Optional) copy running-config startup-config Example: <code>switch(config)# copy running-config startup-config</code>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

COM1 ポートの設定

COM1 ポートについて次の特性を設定できます。

- データ ビット
- ハードウェアのフロー制御
- パリティ
- スピード
- ストップ ビット

Before you begin

コンソール ポートまたは COM1 ポートにログインします。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **line com1**
3. **databits bits**
4. **flowcontrol hardware**
5. **parity {even | none | odd}**
6. **speed {300 | 1200 | 2400 | 4800 | 9600 | 38400 | 57600 | 115200}**
7. **stopbits {1 | 2}**
8. **exit**

- 9. (Optional) **show line com1**
- 10. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure terminal Example: switch# configure terminal switch(config)#	グローバル設定モードを開始します。
ステップ 2	line com1 Example: switch# line com1 switch(config-com1)#	COM1 コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	databits bits Example: switch(config-com1)# databits 7	1バイトあたりのデータビット数を設定します。指定できる範囲は5～8です。デフォルトは8です。
ステップ 4	flowcontrol hardware Example: switch(config-com1)# flowcontrol hardware	ハードウェアのフロー制御をイネーブルにします。デフォルトではイネーブルになっています。 no flowcontrol hardware コマンドを使用してハードウェアのフロー制御を無効化します。
ステップ 5	parity {even none odd} Example: switch(config-com1)# parity even	パリティを設定します。デフォルトは none です。
ステップ 6	speed {300 1200 2400 4800 9600 38400 57600 115200} Example: switch(config-com1)# speed 115200	送信および受信速度を設定します。デフォルトは 9600 です。
ステップ 7	stopbits {1 2} Example: switch(config-com1)# stopbits 2	ストップ ビットを設定します。デフォルトは 1 です。
ステップ 8	exit Example: switch(config-com1)# exit switch(config)#	COM1 コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 9	(Optional) show line com1 Example: switch(config)# show line com1	COM1 ポートの設定を表示します。

	Command or Action	Purpose
ステップ 10	<p>(Optional) copy running-config startup-config</p> <p>Example:</p> <pre>switch(config)# copy running-config startup-config</pre>	<p>実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。</p>

仮想端末の設定

ここでは、Cisco NX-OS デバイスで仮想端末を設定する方法について説明します。

非アクティブセッションタイムアウトの設定

Cisco NX-OS デバイスでは、仮想ターミナルの非アクティブセッションのタイムアウトを設定できます。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **line vty**
3.
 - **exec-timeout** *minutes*
 - **absolute-timeout** *minutes*
4. **exit**
5. (Optional) **show running-config all | begin vty**
6. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	<p>configure terminal</p> <p>Example:</p> <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	<p>グローバル構成モードを開始します。</p>
ステップ 2	<p>line vty</p> <p>Example:</p> <pre>switch# line vty switch(config-line)#</pre>	<p>ライン コンフィギュレーション モードを開始します。</p>
ステップ 3	<ul style="list-style-type: none"> • exec-timeout <i>minutes</i> • absolute-timeout <i>minutes</i> <p>Example:</p> <pre>switch(config-line)# exec-timeout 30</pre>	<p>VDCを設定します。有効値は 0 ~ 525600 分 (8760 時間) です。0 分の値を設定すると、タイムアウトはディセーブルになります。デフォルト値は 30 です。</p>

	Command or Action	Purpose
	Example: <pre>switch(config-line)# absolute-timeout 30</pre>	仮想端末 (vty) 回線のタイムアウト間隔を設定します。範囲は 0 ~ 10000 です。 指定した時間期間が経過したら、その時点で接続が使用されているかどうかに関係なく接続を終了するには、 absolute-timeout コマンドを使用します。ポートごとに絶対的なタイムアウト値を指定できます。ユーザには、セッションが終了する前に 20 秒通知を渡されます。この logout-warning コマンドは、差し迫ったログアウトをユーザーに通知するコマンドとともに使用できます。
ステップ 4	exit Example: <pre>switch(config-line)# exit switch(config)#</pre>	ライン コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 5	(Optional) show running-config all begin vty Example: <pre>switch(config)# show running-config all begin vty</pre>	仮想端末の設定を表示します。
ステップ 6	(Optional) copy running-config startup-config Example: <pre>switch(config)# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

セッション制限の設定

Cisco NX-OS デバイスでは、仮想ターミナルセッションの数を制限できます。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **line vty**
3. **session-limit sessions**
4. **exit**
5. (Optional) **show running-config all | being vty**
6. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure terminal Example:	グローバル構成モードを開始します。

	Command or Action	Purpose
	switch# configure terminal switch(config)#	
ステップ 2	line vty Example: switch# line vty switch(config-line)#	ライン コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	session-limit sessions Example: switch(config-line)# session-limit 10	Cisco NX-OS デバイス向けの仮想セッションの最大数を設定します。有効な範囲は 1 から 60 です。デフォルトは 32 です。
ステップ 4	exit Example: switch(config-line)# exit switch(config)#	ライン コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 5	(Optional) show running-config all being vty Example: switch(config)# show running-config all begin vty	仮想端末の設定を表示します。
ステップ 6	(Optional) copy running-config startup-config Example: switch(config)# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

モデム接続の設定

モデムは COM1 ポートまたはコンソール ポートのいずれかに接続できます。

COM1 ポートを使用してモデムに接続することを推奨します。

モデム接続のイネーブル化

モデムを使用する前に、ポートでモデム接続をイネーブルにする必要があります。

Before you begin

コンソール ポートにログインします。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. 次のいずれかのコマンドを入力します。
3. **modem in**

4. **exit**
5. (Optional) **show line**
6. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose						
ステップ 1	configure terminal Example: <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル構成モードを開始します。						
ステップ 2	次のいずれかのコマンドを入力します。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">コマンド</th> <th>目的</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>line com1</td> <td>COM1 コンフィギュレーションモードを開始します。</td> </tr> <tr> <td>line console</td> <td>コンソールコンフィギュレーションモードを開始します。</td> </tr> </tbody> </table> Example: <pre>switch# line com1 switch(config-com1)#</pre>	コマンド	目的	line com1	COM1 コンフィギュレーションモードを開始します。	line console	コンソールコンフィギュレーションモードを開始します。	COM1 コンフィギュレーションモードまたはコンソールコンフィギュレーションモードを開始します。
コマンド	目的							
line com1	COM1 コンフィギュレーションモードを開始します。							
line console	コンソールコンフィギュレーションモードを開始します。							
ステップ 3	modem in Example: <pre>switch(config-com1)# modem in</pre>	COM1 またはコンソールポートでモデム入力をイネーブルにします。						
ステップ 4	exit Example: <pre>switch(config-com1)# exit switch(config)#</pre>	COM1 コンフィギュレーションモードまたはコンソールコンフィギュレーションモードを終了します。						
ステップ 5	(Optional) show line Example: <pre>switch(config)# show line</pre>	コンソールおよび COM1 の設定を表示します。						
ステップ 6	(Optional) copy running-config startup-config Example: <pre>switch(config)# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。						

デフォルトの初期化ストリングのダウンロード

Cisco NX-OS ソフトウェアによって、モデムと接続するためにダウンロードできるデフォルトの初期化ストリングが提供されます。デフォルトの初期化文字列は ATE0Q1&D2&C1S0=1\015 です。

Before you begin

コンソールポートにログインします。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. 次のいずれかのコマンドを入力します。
3. **modem init-string default**
4. **exit**
5. (Optional) **show line**
6. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose						
ステップ 1	configure terminal Example: <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル構成モードを開始します。						
ステップ 2	次のいずれかのコマンドを入力します。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">オプション</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>line com1</td> <td>COM1 コンフィギュレーションモードを開始します。</td> </tr> <tr> <td>line console</td> <td>コンソールコンフィギュレーションモードを開始します。</td> </tr> </tbody> </table> Example: <pre>switch# line com1 switch(config-com1)#</pre>	オプション	説明	line com1	COM1 コンフィギュレーションモードを開始します。	line console	コンソールコンフィギュレーションモードを開始します。	
オプション	説明							
line com1	COM1 コンフィギュレーションモードを開始します。							
line console	コンソールコンフィギュレーションモードを開始します。							
ステップ 3	modem init-string default Example: <pre>switch(config-com1)# modem init-string default</pre>	デフォルトの初期化ストリングをモデムに書き込みます。						
ステップ 4	exit Example: <pre>switch(config-com1)# exit switch(config)#</pre>	COM1 コンフィギュレーションモードまたはコンソール コンフィギュレーションモードを終了します。						
ステップ 5	(Optional) show line Example: <pre>switch(config)# show line</pre>	COM1 およびコンソールの設定を表示します。						
ステップ 6	(Optional) copy running-config startup-config Example:	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。						

	Command or Action	Purpose
	<code>switch(config)# copy running-config startup-config</code>	

ユーザ指定の初期化ストリングの設定およびダウンロード

デフォルトの初期化ストリングがお使いのモデムと互換性がない場合、独自の初期化ストリングを設定したり、ダウンロードしたりすることができます。

Before you begin

コンソールポートにログインします。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. 次のいずれかのコマンドを入力します。
3. **modem set-string user-input *string***
4. **modem init-string user-input**
5. **exit**
6. (Optional) **show line**
7. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose						
ステップ 1	configure terminal Example: <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル構成モードを開始します。						
ステップ 2	次のいずれかのコマンドを入力します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>オプション</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>line com1</td> <td>COM1 コンフィギュレーションモードを開始します。</td> </tr> <tr> <td>line console</td> <td>コンソールコンフィギュレーションモードを開始します。</td> </tr> </tbody> </table> Example: <pre>switch# line com1 switch(config-com1)#</pre>	オプション	説明	line com1	COM1 コンフィギュレーションモードを開始します。	line console	コンソールコンフィギュレーションモードを開始します。	
オプション	説明							
line com1	COM1 コンフィギュレーションモードを開始します。							
line console	コンソールコンフィギュレーションモードを開始します。							
ステップ 3	modem set-string user-input <i>string</i> Example: <pre>switch(config-com1)# modem set-string user-input ATE0Q1&D2&C1S0=3\015</pre>	COM1 またはコンソールポート用のユーザ指定の初期化ストリングを設定します。この初期化ストリングは、最大 100 文字の長さの英数字で、大文字と小文字が区別され、特殊文字を含むことができます。						

	Command or Action	Purpose
		Note スtringを初期化する前に、まずユーザ入力ของStringを設定する必要があります。
ステップ 4	modem init-string user-input Example: switch(config-com1)# modem init-string user-input	ユーザ指定の初期化Stringを、COM1 またはコンソールポートに接続されたモデムに書き込みます。
ステップ 5	exit Example: switch(config-com1)# exit switch(config)#	COM1 コンフィギュレーションモードまたはコンソール コンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ 6	(Optional) show line Example: switch(config)# show line	COM1 およびコンソールの設定を表示します。
ステップ 7	(Optional) copy running-config startup-config Example: switch(config)# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

電源がオンになっている Cisco NX-OS デバイスのモデムの初期化

電源がオンになっている物理デバイスにモデムを接続する場合、モデムを使用する前に初期化する必要があります。

Before you begin

Cisco NX-OS デバイスがブートシーケンスを完了し、システムイメージが実行されるまで待つから、モデムをデバイス上の COM1 ポートまたはコンソールポートのいずれかに接続します。

ポートでモデム接続をイネーブルにします。

SUMMARY STEPS

1. **modem connect line {com1 | console}**

DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	modem connect line {com1 console} Example:	デバイスに接続されたモデムを初期化します。

Command or Action	Purpose
switch# modem connect line com1	

Related Topics

[モデム接続のイネーブル化](#) (9 ページ)

ターミナルセッションのクリア

Cisco NX-OS デバイスのターミナルセッションをクリアできます。

SUMMARY STEPS

1. (Optional) **show users**
2. **clear line name**

DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) show users Example: switch# show users	デバイスのユーザセッションを表示します。
ステップ 2	clear line name Example: switch# clear line pts/0	特定の回線のターミナルセッションをクリアします。回線名では大文字と小文字が区別されます。

端末およびセッション情報の表示

端末およびセッション情報を表示するには、次のいずれかの作業を行います。

コマンド	目的
show terminal	端末設定を表示します。
show line	COM1 およびコンソール ポートの設定を表示します。
show users	仮想ターミナルセッションを表示します。
show running-config [all]	実行コンフィギュレーションのユーザアカウント設定を表示します。 all キーワードを指定すると、ユーザアカウントのデフォルト値が表示されます。

これらのコマンドの出力フィールドの詳細については、ご使用のデバイスの Cisco Nexus コマンドリファレンスガイドを参照してください。

端末ディスプレイのデフォルト設定とセッションパラメータ

次の表に、端末表示とセッションパラメータのデフォルト設定値を示します。

Table 1: デフォルトの端末表示とセッションパラメータの設定

パラメータ	デフォルト
端末タイプ	ansi
端末の長さ	コンソールセッションの場合は 0 行 仮想端末セッション用の 31 回線
端末の幅	80 カラム
端末の非現用系セッションのタイムアウト	無効 (0 分)
コンソールセッションデータ ビット	8
コンソール非現用系セッションタイムアウト	無効 (0 分)
コンソールセッションパリティ	none
コンソールセッション速度	11520bps
コンソールセッションストップ ビット	1
COM1 セッションデータ ビット	8
COM1 ハードウェア フロー制御	有効
COM1 セッションパリティ	none
COM1 セッション速度	9600 bps
COM1 セッションストップ ビット	1
仮想端末の非現用系セッションタイムアウト	無効 (0 分)
仮想端末セッションの制限	32
モデム：初期化文字列	ATE0Q1&D2&C1S0=1\015

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。